

【プレスリリース】りゅうせき、OIST・琉球大学 と共同で「潮乃森 緑化開発ワークショップ」を開催 ～潮乃森の現地視察から、国内外の専門家を交えたブルーカーボン等の未来の議論～

株式会社りゅうせき（本社：沖縄県浦添市、代表取締役社長：根路銘剛宏）は、2026年7月6日（月）、沖縄科学技術大学院大学（OIST）および琉球大学との共同チームを代表し、「潮乃森 緑化開発ワークショップ」を開催いたしました。

本ワークショップでは、持続可能な沿岸環境の構築に向けたマングローブ植林の取り組みや、ブルーカーボン・グリーンカーボンクレジット市場の活用について、国内外の第一線で活躍する研究者や専門家、地元企業、行政関係者が一堂に会し、活発な議論が交わされました。

■ 本ワークショップの主なハイライト

1. 潮乃森（東部海浜開発地）の視察

午後のワークショップに先立ち、午前中は国内外の専門家、地元企業、行政関係者などの参加者合同で、潮乃森（東部海浜開発地）の現地視察を実施いたしました。実際のフィールドに足を運び、マングローブの植林候補地を巡りながら、今後の生物多様性維持と回復に向けた活発な意見交換が行われました。



2. OISTマングローブ研究への寄付金贈呈

一昨年からの共同研究の成果を引き継ぎ、今期はマングローブ研究へのさらなる貢献を目指し、りゅうせきサステナビリティ推進室の安岡室長より、OIST統合群衆生態学ユニットのデイビッド・アミタージ教授へ寄付金の贈呈を行いました。地域の自然環境保護に向けた持続的な支援体制を一層強固なものといいたします。

3. 沖縄ブルーカーボンチームによる成果発表

りゅうせき、OIST、琉球大学の産学官共同チームである「沖縄ブルーカーボンチーム」を代表し、りゅうせきの勝丸とOIST統合群衆生態学ユニットのマヤ・アガタより、潮乃森緑化プロジェクトの概要とこれまでのマングローブ植林の先進的な取り組みについてプレゼンテーションを行いました。

4. 海外専門家による最先端技術と市場メカニズムの共有

オーストラリア・ジェームスクック大学（JCU）TropWater代表のダミアン・バロウズ教授およびローリー・マーロイ博士より「マングローブ、塩生湿地、および底生生態系の実践的な修復技術」についてご講演いただき、オーストラリアでの取組事例から港湾設計やインフラ整備における生態工学的な知見が共有されました。また、ロイヤルメルボルン工科大学（RMIT）のニプニ・ペレラ氏からは、信頼性の高いブルーカーボン市場の活用戦略について貴重な知見をいただきました。





5. 未来を創るグループワークショップ

後半のセッションでは、参加者が3つのトピック（A: マングローブ植林とブルーカーボンクレジット、B: 環境DNAと生物多様性維持、C: 植林とグリーンカーボンクレジット）に分かれ、沖縄セルラー様やJオイルミルズ様などのパートナー企業を交えて、具体的な社会実装に向けたブレインストーミングを行いました。



■ 開催概要

イベント名	潮乃森 緑化開発ワークショップ
日時	2026年7月6日（月） 9:15 ～ 17:00（午前：視察、午後：ワークショップ）
場所	午前：潮乃森（東部海浜開発地） 午後：沖縄科学技術大学院大学（OIST） 会場 Room 209 / Room 210
主催	株式会社りゅうせき
共催・協力	沖縄科学技術大学院大学（OIST）、琉球大学、沖縄セルラー電話株式会社、株式会社J-オイルミルズ、沖縄県港湾課 ほか

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社りゅうせき サステイナビリティ推進室（担当：安岡、勝丸）

住所：沖縄県浦添市西洲2丁目2番3号

TEL：098-875-5000（代表）

URL：<https://www.ryuseki.co.jp/>